

[ハンセン病回復者及びその家族の人権]

分類	題名	内容	企画	時間(分)	制作年	ビデオ/DVD
H 1	あつい壁 【貸出し制限あり】	昭和28年に熊本で起きた黒髪小学校事件を骨子として、ある小市民一家の悲劇を描いた「熊本のドラマ」。ハンセン病への偏見と差別を告発する感動的な映画。 (このビデオは、個人での鑑賞、または40人程度までの研修等に使用できます。それを超える人数の研修等や不特定多数を対象にした上映には使用できませんのでご注意ください。)	あつい壁製作実行委員会	94	1969	ビデオ
H 2	見えない壁を越えて なき者たちの証言	ここに人間を隔ててきた偏見と差別の壁が横たわっている。崩れかかっているが、それは棘のある生け垣や深い堀、海の彼方や山奥であつたり、人と人とを隔てる壁は至る所に存在した。明治以来90年、病む者たちを故郷や肉親から引き裂き、職場も名前も捨てさせたばかりか、人間であることさえ拒否し続けてきた”らい予防法”が漸く廃止された。夥しい犠牲のうえに、強制隔離の壁はうち砕かれた。だが、果たして、人々の心の中の壁はいつ取り払われる日がくるのだろうか。	(財) 藤楓協会／全国ハンセン病療養所入所者協議会／高松宮記念ハンセン病資料館	119	2001	ビデオ
H 3	ハンセン病を知っていますか？ ～現代医学で制圧された病氣～	ハンセン病の古い歴史から、現代医学で治る病氣となるまでの経緯を紹介。そして、長い間の誤解や偏見に耐え、今新しく地域住民との交流が始まっているハンセン病元患者さんの姿を通して、ハンセン病に対する正しい知識と、ハンセン病問題を克服する方法を提案する。	内閣府	22	2001	ビデオ
H 5	ハンセン病 剥奪された人権	現在も国立のハンセン病療養所に暮らす人々、院長及び関係者の証言を取材し、ハンセン病隔離の不幸な歴史と現在の状況を描く。そして、現代に生きる私たちが、今、考えなければならない人権意識を問う。	東映(株)	25	2002	ビデオ
H 6	「菊池野」こころの叫び ～それぞれの恵楓園物語～ 前・後編 【貸出使用許諾書の提出が必要】	菊池恵楓園入所者自治会機関誌「菊池野」に掲載された随想や詩から選んだものを俳優の滝田栄さんが朗読し、同園の歴史を映像等で紹介する。人が生きていくこと、命の重さが綴られた入所者のみなさんの心の声。 (このビデオは、平成16年1月27日及び2月17日、熊本朝日放送で放送された番組です。貸し出しの際は許諾申請が必要となりますので、詳しくは人権センターまでお問い合わせください。)	熊本県	58	2004	ビデオ
H 7	未来への虹～ぼくのおじさんは、ハンセン病～ 【アニメ】	ある小学生がハンセン病療養所入所者のもとに遊びに行き、ハンセン病の歴史、入所者が受けてきた差別などを知る。これからの未来をにう子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたいくても帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかける作品。	法務省人権擁護局・(財)人権教育啓発推進センター	30	2005	ビデオ
H 8	ハンセン病を正しく理解するために	岡山県にある国立療養所・邑久光明園と長島愛生園の語り部計12名の証言集(計157分)と、ハンセン病啓発作品「人間回復の橋、心のかけ橋となれ」(アニメ入り/29分)を収めた作品。 ※チャプター画面あり。一部分を選択して観ることも可能です。	ハンセン病の正しい理解を進める普及啓発事業実行委員会	186	2002	DVD
H 9	こころの詩 ～風薫る丘からのメッセージ～ ハンセン病を正しく理解するために	中学生の主人公が菊池恵楓園の絵画クラブを訪れ入所者の方との出会い、監禁室や納骨堂を入所者の方に案内され、ハンセン病の隔離生活と差別の歴史について学ぶ。	熊本県	30	2006	ビデオ

分類	題名	内容	企画	時間(分)	制作年	ビデオ/DVD
H 12	虎ハ眠ラズ 在日朝鮮人ハンセン病回復者 金泰九	在日とハンセン病の二重の差別を受けながらも、人権運動の先頭に立ち続けた金泰九85歳。その苛烈な人生から我々が学ぶものは？18歳の少女の目線で描かれた真実の歴史。	風楽創作事務所／フルーク映像(株)	30	2011	DVD
H 13	演劇 光の扉をあけて	医師からHIVに感染している事を告げられたメグは、エイズに対しての強い差別と偏見を知り動揺する。誰にも相談できずに辛い日々が続く中、メグは知花先生に誘われて、親友ひかる、まりこと一緒にハンセン病回復者で社会復帰をした人の家を訪れる。辛く寂しい半生だったのにも関わらず、自ら希望を見出し、全てを許し生きてきた生き方にメグは心を動かされる。人が人に対して行った想像もできない現実を受け止めて、共に生きるとは何なのかを問い直す作品。	HIV人権ネットワーク沖繩	97	2014	DVD
H 14	壁をこえて	合志市、国立療養所菊池恵楓園、菊池恵楓園入所者自治会で共同制作したハンセン病問題啓発教育DVD。100年を越える歴史をもつ菊池恵楓園に残る多くの写真などの記録と入所者の証言や熊本で起こったハンセン病にまつわる事件などを織り込んだ作品。	合志市国立療養所菊池恵楓園、菊池恵楓園入所者自治会	40 大人用 30 児童用	2014	DVD
H 15	未来への虹 ～ぼくのおじさんは、ハンセン病～	ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本「ぼくのおじさんは、ハンセン病ー平沢保治物語ー」をもとに、小学校高学年以上の方に見てもらおうことを目的として作られた作品。平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたいくても帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけている。	法務省人権擁護局(公財)人権教育啓発推進センター	30	2005	DVD
H 16	「人権アーカイブ・シリーズ」 ①ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～ ②家族で考えるハンセン病	ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめている。また、市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとする作品。	法務省人権擁護局(公財)人権教育啓発推進センター	①56 ②20	2015	DVD
H 17	新・あつい壁	ハンセン病患者であることを理由に法の前の平等を踏みにじられた50年以上も前の事件を通して、それを許した当時の社会の意識が今日どのように変わったのか、そして何が変わらないのかが描かれた作品。(このDVDは、個人での鑑賞、または40人程度までの研修等に使用できます。それを超える人数の研修等や不特定多数を対象にした上映には使用できませんのでご注意ください。)	映画「新・あつい壁」制作上映実行委員会・全国ハンセン病療養所入所者協議会	111	2007	DVD
H 18	ハンセン病回復者からのメッセージ	国の誤った隔離政策で深刻な差別を受けたハンセン病回復者とその家族の貴重な証言記録	東映(株)	25	2018	DVD
H 19	あつい壁に虹のかけ橋を	合志市市制施行15周年を記念し、俳優竹下景子氏と合志市出身の映画監督中山節夫氏にハンセン病問題を中心にご対談いただき、啓発を目的に制作したものです。	合志市／合志市教育委員会	53	2021	DVD
H 20	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	毎日映画社	34	2020	DVD
H 21	一人になる 医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策	「ハンセン病は不治の病ではない、遺伝でも、強烈な伝染病でもない、隔離は必要ない」と言い続け、一人ひとりの患者に接し、患者を「隔離」から守ろうとしてきた小笠原登医師。「一人になる」ことを恐れず、医師として信じる道を進んだ背景や、人々との出会いを描いた作品。	「一人になる」制作実行委員会	99	2021	DVD